秩父独自の「ほぐし捺染」

一般的には、織り上がった布に模様を染めるが、「ほぐし捺染」はたて糸だけの状態に（ずれないよう粗く仮織りする）前もって捺染し、その後よこ糸を通して本織します。その技法により、容易に複雑な絣が生まれデザインの幅が広がりました。また、先染めすることで糸に染料が染み込み、表裏使えるのも特徴の一つです。

1 秩父銘仙のことをもっと知りたい人は

ちちぶ銘仙館

もとは県の繊維工業試験場。秩父銘仙、秩父織物などの展示や製作工程を見ることができます。手織りや染めの体験もできます。

開館時間／9:00-16:00（体験受付は15:00まで）
休 館 日 ／年末年始
入 館 料 ／一般 200円（団体150円）
小・中学生 100円（団体50円）
〒368-0032 埼玉県秩父市熊木町28-1
TEL.0494-21-2112　FAX.0494-21-2116
http://www.meisenkan.com/

秩父銘仙ガイドMAP

ちちぶめいせんマルシェ

伝統的工芸品 秩父銘仙 承認番号 28-032

秩父銘仙 CHICHIBU MEISEN

Chichibu Meisen Marché

「秩父銘仙」とは?

「秩父銘仙」とは、秩父地方で伝統的に製造されている絹織物です。無地・縞・模様などがあり、特に大正～昭和初期にかけては秩父独自の技法「ほぐし捺染」で染め付けられた大胆な模様がおしゃれ着として女性の間で全国的に大流行しました。

◎秩父銘仙は2013年12月に国の伝統的工芸品に指定されました。

Meisen Spots!

秩父神社

秩父市番場町1-3　☎0494-22-0262

秩父三社の一つで学問の神様としても名高い秩父神社。古くから養蚕の守り神としても崇められてきました。12月4日は秩父夜祭の行事の一つ、「蚕糸祭」が行われます。新しい繭を奉納し一年の繁栄を祈願します。

Meisen Spots!

秩父ふるさと館

秩父市本町3-1　☎0494-23-7300

どっしりとした風格のあるこの建物は、国の登録有形文化財でもとは大正より繁栄した銘仙問屋「旧柿原商店」。現在は、地元の農産物やお土産品喫茶スペースなどがあります。市街地の角地にあり、街のランドマークになっています。

㊡10時～17時 ※店舗によって異なる　㊡ ※店舗によって異なる

ちちぶは毎日が絹市「ちちぶめいせんマルシェ」

“黄色い旗”が目印の秩父銘仙販売店

秩父の絹の歴史をたどれば、なんと約400年も前になります。江戸期には町のあちこちで「絹市」が行われ、賑わいを見せていました。

「ちちぶめいせんマルシェ」は現代版の絹市です。黄色い旗を目印に、秩父のロマンを感じながら秩父銘仙めぐりをしてみてはいかが？

発行●秩父市 商工課
問ちちぶ銘仙館 〒368-0032 秩父市熊木町28-1
☎(0494)21-2112

Meisen Spots!

秩父まつり会館

秩父市番場町2-8　☎0494-23-1110

秩父夜祭はその昔、絹大市中心のお祭りで別名「お蚕祭り」と呼ばれていました。庶民にとっては、作物の豊作と質の良いお蚕ができるよう願う大切なイベントでした。絹と関わりの深い夜祭の歴史を学びませんか？

㊡9時～17時（12月～3月は10時から営業）　㊡第4・第5火曜日（祝祭日は開館）、年末年始